

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」～「生きる力」「人間力」の育成

「確かな学力」と「しなやかな心」

確かな学力

- ・基礎基本の徹底
- ・言語活動の充実
- ・授業改善

豊かな心

- ・道徳教育充実
- ・集団づくり
- ・図書館の活用

健やかな体

- ・部活動の充実
- ・安全防災教育
- ・保健教育

- ・チーム桂川（教職員のチームワーク）
- ・教職員の意識改革、ビジョンの明確化
- ・教職員のモチベーションの維持向上

「見つける・つなげる・変える」

「信じる・認める・任せる」

管理職のリーダーシップとマネジメントスキルの向上

今、目の前にあるすべてのものに全力を注いで生きる。

◎自己肯定感

◎自己有用感

子どもたちがどう変わったか。そのために教師が何をしたか。

<良さの共有>

- ・真面目な教職員集団・地域や保護者の協力と信頼・たくさんの生徒（活気）・真面目な生徒
- ・生徒会活動の充実・数年前の荒れた状態からの立て直し・小中学校の情報の共有と協力体制

<課題の共有>

- ・一人一人の生徒を徹底的に大切にするために、個々の課題を教職員が共有し、全力で取り組む。

相互理解

- ・教職員…授業交流（互いに学び合い、高め合う）→授業改善に生かす。
- ・児童生徒…行事交流（学校・地域）、体験授業、体験部活動
- ・保護者…授業参観、オープンスクール、地域行事交流、PTA 活動交流

小中一貫（小学校との連携）、学校運営協議会、おやじの会、PTA

4K（桂川・川岡・桂東・川岡東）で育む

4つのK（聴こう・考えよう・行動しよう・そして感動をつくろう）

＜学校教育目標＞「人を大切に、物を大切に、時を大切に」

「生きる力」「人間力」の育成・・・「確かな学力」と「しなやかな心」

- ・学力の向上→①授業改善や工夫。
 - ②学力向上をとおして人間性の向上、豊かな人間性を育む。
 - …教科指導力の向上を目指し、教科会の充実・研修会への参加・小中授業交流等をとおし、「わかる授業」「言語能力の充実につながる授業」実践と自己研鑽。
- ・豊かな心→①「道徳」や「読書指導」の充実、毎日が道徳。生徒会活動の発展。継続は力なり。
 - ②いじめ根絶に向けて（学校いじめ防止基本法）。他者・自己を大切にできる。
 - …個別臨床だけでは減らせない。いじめを助長しない集団の育成。
 - ③4つのK…「聴こう。考えよう。行動しよう。そして感動をつくろう。」
- ・体力の増進→①健康教育、部活動の充実
 - …勝利や技術の習得以上に大切なものがある。部活動を通してつけない力。

＜change our school＞から＜Be proud of our school＞へ

- (1) 一人一人の生徒を大切に・・・心の通った指導。生徒の側にいましょう。
 - 粘り強く、スクラムを組みチームで取り組みましょう。
- (2) 学校を変えるのは人・・・自分が変わる（成長する）ことで、学校が変わる。
 - ・普遍と不変…変わらず大切にすることがある。人を変えるには、自分が変わる。
 - ・変わると向上心…過去のスタイルにとらわれず、新しく取り入れる。
 - あの時良かったやり方が、今、良いとは限らない。
 - ・ビジョン…こんなクラスにしたい。こんな授業をして、こんな力をつけさせたい。
 - こういう部にしたい。→生徒の「なりたい自分」につながる。
 - ・「物や時間には限りがある」が、無限の可能性のあるのは「人」
- (3) 言語活動の充実・・・今年はこれを教職員みんなで意識して取り組む。
 - ・語彙の獲得、豊かな表現力、自分の思いや考えをまとめる力、他者に伝える力
 - 思考力・判断力・表現力の育成。
 - ・大きな声で、気持ちの良いあいさつができる学校（教職員も生徒も）
 - ・生徒を名前で呼ぶ、ありがとう、うれしいなあ。→個を認める、ほめる。
 - ・あらゆる教育活動の場面で「ことば」（聴く・書く・話す）の大切さを意識して取り組む。
- (4) 生徒の主体性を大切に・・・指導者のビジョンと主体性が必要。
 - ・「信、認、任（しん・にん・にん）」→生徒の心に自己肯定感や自己有用感を。
- (5) 攻めの生徒指導、足で稼ぐ・・・迷ったときは目的に帰る。迷ったときはやる。
 - 自分にとって困難なほうを選択する。
 - ・生徒の側にいる。保護者の思いを共有する。直接、顔を見て聴く、語る、伝える。
 - ・時間をかけて誠実に取り組んでいけば必ず思いは伝わる。強い信念と深い愛情。
- (6) 地域（行事）や施設（保育園・児童館・桂川園）との連携
- (7) 小中一貫（連携）…小学校から学ぶもの。中学校から伝えるもの。桂川中学校らしさ。
- (8) 評価・・・子どもの変容をとらえる。子どもの変容で図るもの。（子どもがどう変わったか）
- (9) 教職員のチームワーク・・・一人一人の持ち味を大切に、高めあえる集団。